

## 講師 萩原 宗 氏 略歴

### モードの先端を走る 萩原 宗さん

萩原宗さんが群馬県から上京したのが昭和32(1957)年。東京・杉並に落ち着いた宗さんだが、近くの窪田理美容専門学校へ通いながらいろいろなアルバイトに精を出す毎日。美容室へも働きに行っているうち「ワリのいい仕事だ。これはいける」と美容師になる決意を固めたという。まわりは女性ばかりで、男が美容師の道を選ぶには勇気の要る時代であった。

美容学校を終えた宗さんは、品川の美容室でインターンをやって美容師試験を受けたものの1回目の実地試験には不合格。さらに何度か挑戦したが、その都度落ちたというから後の宗さんからは想像もできない。上京して3年目の1960年、インターン中にもかかわらず自分の店を持った。

場所は、現在の本社事務所のある杉並区和田1丁目から徒歩約10分ほどの所。美容を仕事に選んだこととい、独立の仕方といい、いかにも宗さんらしい。時代の先を読み、素早く実行できるのは能力というものだろう(結局、美容師免許を取ったのは独立後のこと)。

1号店オープン時からチェーン店構想があったそうで、1962年、63年と立て続けに出店。東京オリンピック(1964年)を控え、景気上昇の時でもあった。東京・大阪間に新幹線が走り、店のそばに地下鉄が通るようになった。

そのころから宗さんの名が世に出始めた。俗な言い方をすれば「男性美容師で、カッコいい」との評判で、全国各地から美容講習会の講師として招かれた。ルックスばかりでないのは当然で、技術の裏付けがあった。

「毎日カーラーで巻いて、ほどいてセットする。美容師の仕事はほとんどがセットだから、これでいいのかと思っていたよ。カットはレザーで、カットだけではお金にならない時代だった」

1964年、宗さんは初のヨーロッパ研修に出掛け、帰国すると、その年に開店したサロンを含め4店舗の萩原宗美容室の料金体系を改めた。メニュー表にカット料金を加えたのである。当時の萩原家の記録(家族ひとりずつの記録と、世の中の出来事が年度ごとに一覧表になっている)を見ると、カット200円、セット250円、総合パーマ800円、などと記してある。東京・大阪間の新幹線が2,800円の時代だった。

宗さんのカットに対する思いは1970年、ロンドンへ行ってのサスーンスクール研修という日本人としては極めて異例の行動となって表れた。帰国後、講習やジャーナル活動を通じてその技術を発表、「カットの宗」は不動のものとなっていた。

以後の活動はめざましい。ニューヨークから来日公演のミュージカルHAIRのヘアを担当したり、美容研究会の設立、カット教室の開設、日本カット技術者協会の設立など、公的活動に精を出す。ICD世界大会でのステージ出演、その他世界各地での美容技術展示。国内でもNHDKの設定委員長を務めた。

昨年、2017年(80歳のバースデー)傘寿を迎え、さらにパワーアップしています。

**萩原宗**

木更津駅西口ロータリーより、イオンモール木更津行きのバスもございます。



### 萩原 宗 その略歴と会社の沿革

- 1960 東京・杉並区に「銀座宗美容室」第1号店オープン。美容業の企業化を目指す。
- 1962 第2号店オープン。
- 1963 第3号店オープン。各種コマースに上位入賞。黄色の美容室として注目される。
- 1964 第4号店オープン。初の清軟。帰国後、カットの重要性を訴え自らも「カットで勝負する」宣言。カット料金を独立した形で設け、日本美容界をリードする。
- 1967 日本初のかつ専門校「萩原宗カット教室」開設。カット技術の指導にのり出す。
- 1969 第5号店オープン。世界初のカッティングショー開催。話題のミュージカル「HAIR」にヘアアーティストとして参加。
- 1970 ロンドンに渡り、カットの名手ヴィタル・サスーンにより高等技術を学ぶ。帰国後初公開し、「カットの宗」の呼び名を不動のものとする。
- 1971 青山に出店。「セイブ・マニー」をキャッチフレーズにして、わずか一週間のうちに超満員となる。「萩原宗美容研究会」を設立し主宰する。
- 1972 萩原に出店。「萩原宗カット教室」を大阪にも開設。「日本カット技術者協会」(SCAT)を設立し、美容室の組織化を図る。世界的規模となり、世界のカットコンクール「萩原宗杯争奪全日本モードカットコンクール」を開催。著書「モードカット」発行。業界のベテランセラーとなる。
- 1973 仙川に出店。「萩原宗カット教室」を「萩原宗カッティングスクール」と改称し、規模・設備・内容とも更に拡充する。
- 1974 カットコンクールを東京体育館で開催。世界有数のビッグイベントとして成長する。吉祥寺に出店。文化人・芸能人・財界人・デザイナー等各界の著名人200名を招待し、斬新なパーティ「ファッシュナブルな夜」を開催。マスコミで話題となる。
- 1975 トータルファッションを標榜する新しい試みのショウ「ファッションギャラリー75」を東京・大阪・札幌・高知で開催。著書「続・モードカット」発行。
- 1976 青山ベルコモンズに出店。カットコンクールにおいて300人の出場者と、4,500人の観衆を集め美容室最大のイベントと評される。
- 1977 静岡に出店。独自のニューヘアモード「DADA」を発表し、各地でショーや講座、静岡に出店。独自のニューヘアモード「DADA」を発表し、各地でショーや講座、静岡に出店。
- 1978 春夏ニューへアモード「LaLa」、秋冬ニューへアモード「ぶるくわ」を発表。
- 1979 東北沢に出店。世界各国のショウに招かれ出演。春夏のニューへアモード「しゃんじ」、秋冬のニューへアモード「Shape NAC」を発表。
- 1980 川崎、池袋に出店。春夏のニューへアモード「Shape NAC '80」を発表。
- 1982 横浜元町に出店。
- 1985 町田に出店。ICD世界美容大会(パリ・モナコ)に日本代表として出場。日本へアデザイン協会設定委員長就任。
- 1986 東中野、国立に出店。
- 1987 日中美容交流のため、中国(北京)を訪れる。日本における新しい技術の取り方を模索し、パリの有名美容サロンを視察。日本へアデザイン協会副理事長就任。
- 1988 スイス・ソリス社の招きを受け、コングレス世界大会へ日本代表として出席。
- 1989 ドイツ、イタリア、イギリス、デンマークにおいてウエラ化粧品会社のモードショーに日本代表として出演。
- 1990 美容業界でいち早く、地球のオゾン層を破壊するフロンガスの使用されている製品の使用をやめる宣言。マスコミにて大きく取り上げられる。
- 1990 豪徳寺にエスティックルームを併設したサロンをオープン。
- 1991 日本最大のクルーズ客船「飛鳥」にサロンオープン。
- 1993 「萩原宗カッティングスクール」を「萩原宗マスタークラス」に改称し、技術はもちろんのこと、美容師として必要なすべての事を習得してもらえるカリキュラムを開発。早期育成即実践の美容師を養成する。
- 1994 ロサンゼルスで開催されたビューティエキスポに、宗アーティスティックチームが招待され、ヘアショー出演する。阿佐ヶ谷に出店。
- 1995 萩原宗美容研究会講師会会長として、メンバーと共にロンドン・パリへ研修旅行に行き、帰国後ヘアショーにてヘアカラースタイル「ラッシュ」を展示。同時に創作活動集団 soh' art を結成し、記者会見する。
- 1996 萩原宗美容室アーティスティックチームの名称を2SF(ドゥ・エスエフ)からSOH hagi-waraに変更、新組織となり積極的に数々のセミナーをヘアショーを担当する。
- 1997 還暦のイベントパーティを開催し、萩原宗自らの半生をコミック化した本を出版。

# AEON MALL

## イオンモール木更津

千葉県木更津市築地1番4

### 〈2F〉イオンホール

